

■教材・教具 ■聞き合い活動 □サプライズ ■ニーズの調整 □その他

1 本時のねらい 7/13 時

全体の内容やキーワードから、筆者が読者に訴えたいことについて読み取ることができる。 (読む)

2 支援の工夫

① ワークシート

- ・ キーワードを見つける活動から、最終的にはそのキーワードを使って要旨をまとめていくという学習の見通しがワークシートからも分かるようにする。
- ・ ステップ1・2・3と同じ形式のワークシートを使うことで、活動の手順の見通しをもちやすくする。
- ・ キーワードの枠が決められていることで、キーワードが長くなりすぎないようにする。
- ・ まとめの書き始めと終わりを示し、要旨をまとめる際の手がかりとなるようにする。
- ・ 注目するところが分かりやすいように、ワークシートと板書のレイアウトを同じにする。

② ヒントカード

- ・ 複数の用紙を用意し、できるだけ児童の意図に合うようにする。
- ・ 穴あきのところに自分が選んだキーワードを入れ、正しい文脈を導き出せるようにする。

③ キーワード

- ・ 「キーワード見つけ」を提示することで、その方法がいつでも確認できるようにする。
- ・ キーワードは文章中から見つけることで、筆者の意図を読み取ることができるようにする。
- ・ キーワードの数を3つと定め、聞き合い活動が活発にできるようにする。

④ 聞き合い活動

- ・ 聞き合い活動のグループの人数は、聞き合いがしやすい4人に設定する。
- ・ 「聞き合いの進め方」を示すことで、単にキーワードを紹介するのではなく、選んだ理由も伝えることができるようにする。
- ・ キーワードを書いたメモ用紙を動かすことで、キーワードを分類・整理しやすいようにする。
- ・ グループで1冊の教科書を共有し、本文のどこに書かれていたキーワードかをみんなで確認できるようにする。
- ・ グループで話合いの際は、机を合わせる、全体の場合では教室の中央に机を向けるなど、活動が深まりやすいように場の設定をする。

3 考察

○ 本時では、キーワードを決める場面で「聞き合い活動」を設定した。児童は、個々に見つけ出したキーワードをもとに、根拠を明らかにしながらグループごとにキーワードを決めていった。

キーワードをワークシートだけでなくメモ用紙にも書くことで、児童はそれぞれのメモをもとに意見を分類したり整理したりしながら、キーワードを決めることができた。用紙を操作しながら、どの児童も頭を寄せて「聞き合い活動」に参加していた。キーワードを書いたメモ用紙が、「聞き合い活動」を具体化する視覚的支援となった。似たキーワードでも、言葉を追加したり削除したりしながら、より筆者の意図に合うキーワードを見つけ出していた。

全体の「聞き合い」の場でも、グループで出し合ったキーワードを視覚的に明確に捉えられるように掲示することで、各グループの共通点や相違点を明確にしていっていった。グループでの「聞き合い」をもとに、全体で「聞き合い」をすることで、意見の深まりが見られる場となった。

①ワークシート

「平和のとりでを築く」ステップ3

め 「見る人の心に平和のとりでを築く」とはどういうことか、みんなで考えよう。

キーワード

ま 原爆ドームは、

ための世界の遺産なのだ。

③キーワード



②ヒントカード

「平和のとりでを築く」ステップ3

ヒントカード

ま 原爆ドームは、(だれの)の()に、()を守る気持ちをもってもらうための世界の遺産なのだ。

ま 原爆ドームは、()で()を二度と使わず、()を守るための世界の遺産なのだ。

ま 原爆ドームは、()まで、戦争を許さず、()を守る強い気持ちを()にもってもらうための世界の遺産なのだ。

④聞き合い活動



キーワード見つけ

- ① 本文の中で、大事だと思ふ言葉に線を引く。
- ② その中から、三つ選んでメモ用紙に書く。
- ③ 選んだ理由を明確にする。

聞き合いの進め方

- 「私・ぼくは、ここにある〇〇を選びました。理由は、・・・だと思つたからです。」
- ・〇〇さんにつけたして、
 - ・〇〇さんと似ていて、
 - ・〇〇さんと(少し)ちがって、
 - ・〇〇さんの話を聞いて、・・・だと思いました。
- ★相談しながら、三つのキーワードを決めよう!